



学校だより 第6号

木城町立みどりの杜木城学園

10月 椎の苗木



令和7年10月24日(金)
文責：鎌田 頼彦

感動のハーモニーをありがとう♪

～校内合唱コンクール(10/2)～

これまで10月2日(木)の校内合唱コンクールに向けて、5・6年はオープン参加として、7～9年の6学級は「金賞」を目指し、各学級が一生懸命練習を積み重ねてきました。

音楽の授業はもとより、グリーントimeや昼休み、朝の会や帰り会、休み時間などで、歌い、話し合い、競い合いました。思いが強い分、仲間同士でぶつかり合い、励まし合い、高め合いながら一日一日を大切に送ってきました。

今年は7～9年生が2曲(課題曲「故郷」、自由曲)
5・6年生は1曲(自由曲)を歌いました。課題曲は、
7年混声二部、8年混声三部、9年混声四部で歌いました。



【金賞】 9年2組 ♪故郷／手紙～拝啓 十五の君へ～



【銀賞】 9年1組 ♪故郷／虹

当日、円陣を組み、あちらこちらから気合いの入ったかけ声が体育館に響き、合唱コンクールへの熱い思いが伝わってきました。コンクールが始まると、先程までの気合いの入った声ではなく、高音と低音が上手く混ざり、素晴らしい歌声に包まれました。担任も体育館の一番後ろから、クラスで準備した模造紙を掲げていて、一体となっていました。

どのクラスも指揮者の振り上げた指先に集中し、息を合わせ、声を合わせ、心を合わせて懸命に歌う学園生たちの姿。歌声も、顔つきも、まとまりも、このひと月あまりの成長を感じさせるに十分な、見応え、聴き応えのある時間でした。



中心となって指導・準備してくださった白瀧先生(音楽専科)、そして各学級担任の先生方、学園生の皆さん、本当に感動をありがとうございました。音楽の力を改めて感じる機会になりました。



【銅賞】 8年1組 ♪故郷／未来へ

部活動生、頑張りました！ ～西都児湯地区中学校秋季体育大会（9/27～10/7）～

3年生が一線を退き、各部・クラブが新体制で汗を流した夏。このひととき暑い夏に技を磨き、チーム力を高めた陸上部、軟式野球部、サッカー部、卓球部、ソフトテニス部、柔道、剣道の各クラブの生徒たち。それぞれ、この大会で精一杯頑張りました。この秋冬、来夏に向けてより一層励んでくれることでしょう。以下、紙面の都合で県大会出場のみを掲載いたします。

- ソフトテニス女子 団体戦 **優 勝**
ダブルス **優 勝** 三嶋 はな・守部 凰花
準優勝 甲斐 彩愛・半渡 碧海 / **5 位** 曾我 雪乃・川野 聖奈
- 軟式野球 **準優勝** （都農中との合同チーム）
- 卓 球 1年女子シングルス **3 位** 甲斐 絢花 / **5 位** 森 小夏
- 陸 上 2年800m **2 位** 古屋 陽愛（標準記録突破）
2年1500m 古谷 優衣（標準記録突破）
女子駅伝 **3 位**

※ 柔道・硬式テニス・ジュニアラグビーは、地区大会は開催されず、県大会から出場します。

読書祭りを開催しました！

10月7日（火）～10日（金）の間、読書まつりを開催しました。図書委員会の学園生が「10月7日（火）～10日（金）しおり作成、読書郵便」「10月7日（火）～8日（水）読み聞かせ」「10月9日（木）～10日（金）くじ引き」を企画してくれました。



どの取組も学園生の心をくすぐる内容でした。読み聞かせでは、1・2年生を中心にたくさんの学園生が参加しました。笑いあり、真剣さありの素敵な読み聞かせでした。

後期課程の学園生が読み聞かせをしている姿を見ていると、心がぽかぽかしてきました。義務教育学校ならではの取組だと思いました。

耕心コーナー 歌声あふれる木城学園

十月二日午後、本学園の体育館には5年生から9年生までの素晴らしい歌声が響き渡っていました。多くの保護者の方も2階からその歌声を聴いておられ、素晴らしい学園生の歌声に感心されたのではないのでしょうか。100%の力を発揮した学園生に改めて拍手を贈りたいです。

学園行事の中でも運動会に並ぶこの合唱コンクールは、当日を迎えるまでに各学級では様々なドラマが展開されます。一生懸命に練習に参加する者、そうではなくなかなか声を出して歌おうとしない者、時には口喧嘩もあり、学級が一つになるのは容易ではありません。そんな子供たちに寄り添い叱咤激励していくのはまさに学級担任であり、学級経営の醍醐味でもあります。

合唱コンクール当日、会場の体育館に入ると各クラス、みんなでエンジンを組むなど、優勝を目指すぞという強い思いを感じました。合唱が始まると、学級担任が体育館後方で寄せ書きを持って立ち必死に応援している姿を見ると私自身も涙が出ました。学級担任にとっでは、これまでの苦勞が報われる瞬間でもあります。きっと一人一人の子供たちとの会話を思い出しながら応援していたと思います。

コンクール結果はさすが9年生が上位を独占しました。7年生8年生も素晴らしい歌声でした。コンクールとは別に5年生6年生も合唱を披露してくれましたが、とても丁寧に素晴らしい歌声でした。私自身、この場にいたことができとても幸せな時間を過ごすことができました。学園生、それを支えた教職員に心から感謝したいと思います。今回、指揮者賞がありましたが、何よりもこの日のために伴奏をするため必死にピアノを練習してきた学園生にエールを送りたいと思います。もちろんそれを支えていただいたご家族にも。（校長）